

研究内容説明図

地域の魅力の再発見と共有に基づく 街体験型サービス技術に関する研究

1 研究目的

サービス利用者の満足度向上と回遊性向上をもたらすユビキタスサービスの具体的な構築法の提案と、提供情報の個人化を実現するための要素技術開発を行う。

2 研究開発の概要

ロコミ等の CGM コンテンツを活用したユビキタス情報サービスにおいて、コンテンツ作成者の特性を「説得性」で定量化し、それに基づいた精選により、受容度の高い情報提供を実現する。また、行動ログ等からユーザの街なかでの気分やモード等の心的な側面を含むコンテキストの推定手法により、情報サービスの満足度の向上を目指す。これらの技術を適用した実証サービスを24年度中に開発し、25年度末までに技術検証を進める。

3 期待される研究成果及びその社会的意義

本研究開発の技術を生かしたユビキタスサービスの高度化により、街での楽しみが増進され、地域での回遊性の向上とサービス利用者の満足度の向上等をもたらし、地域経済活性化に寄与する。

